

## 平成31年度 赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業 実施要項

### 1. 目的

現在、少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等、社会の変化に伴い、地域には様々な福祉課題が混在している。

このような状況の中、総社市社協では、「誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくり」の実現に向けた様々な地域福祉活動を展開しており、今後も多様な団体と連携・協働し、地域福祉課題の解決に取り組むことが求められている。

そこで、地域の福祉課題解決に向けた、自主的かつ先駆的で公益性の高い事業について助成することで、住民主体の支え合い・助け合いの活動がさらに広がり、地域の福祉力が高まることを目的として助成事業を実施する。

### 2. 対象団体

住民の支えあい活動や地域福祉課題の解決に向けた活動に取り組む住民組織・ボランティア団体など

### 3. 対象事業（例示）

- 支えあい活動
- 生活支援サービスに関する活動
- ひきこもり支援に関する活動
- 福祉情報の発信
- 地域の集いの場づくり
- 子どもの成長を支援する活動
- 防災・減災に向けた取り組み
- 福祉教育の推進
- 障がい者の地域参加
- 生活困窮者への支援
- 高齢者の社会参加促進
- 世代間交流

### 4. 事業費

1 団体あたりの助成額は10万円以内とし、事業内容や規模に応じて助成額を決定する。

### 5. 申請方法

実施申請書に必要事項を記入し、5月31日（金）までに事務局（総社市社会福祉協議会内）に提出する。

## 6. 助成決定

本会は、助成事業実施申請書を受理した後、当該申請事業に係る審査を行い、助成が決定した団体に対し、助成事業の決定通知を行う。

## 7. 助成期間

助成期間は、助成を受けようとする年度内を範囲とする。

## 8. 対象経費

- 報償費
- 旅費
- 会議費
- 需用費
- 食糧費
- 役務費
- 環境整備費
- 使用料及び賃借料
- その他共同募金委員会長の認める経費

## 9. 事業実施の流れ

4月～ ： 広報

5月～ ： 申請受付開始

6月上旬：書類選考及び審査会の開催

6月下旬：助成決定

7月～ ： 事業の実施

3月下旬：実績報告書の提出（助成決定団体のみ）

※事業終了後、速やかに実績報告書を提出すること。

## 10. 事業実施上の留意点

共同募金の使途周知の観点から、案内やチラシへ『赤い羽根共同募金の助成を受けて開催（実施）しています』など、赤い羽根共同募金を活用した助成事業であることを必ず広報すること。

様式第1号

年 月 日

総社市共同募金委員会 会長 様

申請者

団体名

代表者名

印

平成31年度 赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業実施申請書

平成31年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業を次のとおり申請します。

記

1. 事業名

\_\_\_\_\_

2. 事業概要

事業費総額	円	助成申請額	円
事業内容			
事業対象者		参加予定人数	名
実施期間	年 月 日 ( ) ～ 年 月 日 ( ) (予定)	実施回数	回
期待される効果			
本年度他の補助金の申請状況	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	補助金名 ( ) 申請金額 ( )	

収支計画書

【収 入】

項 目	金 額	備 考
計	円	

【支 出】

項 目	金 額	備 考
計	円	



様式第3号

年 月 日

総社市共同募金委員会 会長 様

申請者

団体名

代表者名

印

平成31年度 赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業報告書

平成31年度 赤い羽根福祉でまちづくり助成事業を次のとおり実施したので、報告します。

記

1. 事業名

2. 事業概要

実施内容			
	参加者数 _____ 名		
実施期間	年 月 日 ( ) ~ 年 月 日 ( )	実施回数	回
得られた効果			

3. 添付書類

写真や領収書など、実施内容が分かる資料

赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業助成金請求書

総社市共同募金委員会 会長 様

団 体 名

代表者名

印

1. 事業名

\_\_\_\_\_

2. 助成金請求額

\_\_\_\_\_ 円

3. 事業費内訳

	項 目	金 額	備 考
事業費内訳			
	計	円	
	事業費総額	赤い羽根 福祉でまちづくり 助成事業 助成金	負担金 (自己資金)
	円	円	円